

最新情報を  
毎月発信!

滋賀県立成人病センター

# 第24回 がん診療セミナー

滋賀県立成人病センターでは、がん診療を担う若手医師養成を目的とした「がん専門医臨床研修プログラム」の一環として、毎月1回「がん診療セミナー」を開催しております。

このセミナーは、研修プログラムを受講する医師だけでなく、看護師、技師、その他の医療職を対象としたオープンセミナーとして開催いたします。県内医療機関のみならず、もちろん、関心のある方でしたら、どなたでもご参加いただけます。多数のみなさまの参加をお待ちしています。

1月25日(水)  
17:30~19:00

## ポストゲノムの血液がん診療

1990年代から日米英独仏中の6カ国共同国際研究として、人DNAの全て(ゲノム)の塩基配列を決定するプロジェクト“ヒトゲノム計画”が開始され、予定より速く2003年に終了宣言がなされました。ゲノムの一次構造が明らかになると、これに基づき遺伝子が同定され、機能解析がなされますが、予想外の結果が得られています。ヒト遺伝子は予想より少なく、高々3万個程度である事、ヒトゲノムで蛋白質をコードする領域は2%程度で、残りのごみ(ジャンク)と思われていた部分に機能を持ったRNAが存在し、遺伝子の発現に影響を与えている事。また、ゲノムは外界からの刺激を受けてDNAやヒストンのメチル化、ヒストンテールのアセチル化等の修飾を受け(これらをエピゲノム情報という)、これによっても発現が変化する事が判明し、細胞がん化のメカニズムの一つと考えられるようになりました。更には最近話題のiPS細胞・ES細胞などには、エピゲノム修飾をうけて方向が定まった細胞が、リプログラミングされて形成される事が判明し、ポストゲノム期の医療は大きく方向を変えようとしています。

今回は、中でもいち早く臨床応用されたエピジェネティクスに基づく薬剤と、白血病幹細胞のお話。加えて21世紀に急速に発展しつつある抗体治療の話題を取り上げます。

### — プログラム —

#### 【イントロダクション・司会】

成人病センター 血液・腫瘍内科 科長 内海 貴彦

#### 講演1: MDS領域におけるエピジェネティック薬

成人病センター 血液・腫瘍内科 医長 岡 諭

#### 講演2: リンパ腫領域におけるエピジェネティック薬

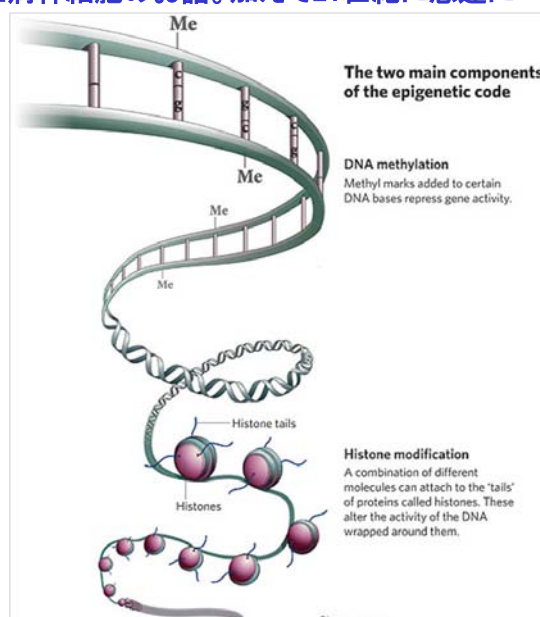
成人病センター 血液・腫瘍内科 部長 浅越 康助

#### 講演3: 白血病幹細胞とは

成人病センター 血液・腫瘍内科 宮本 憲一

#### 講演4: 血液疾患領域における抗体療法の進歩

成人病センター 化学療法部 副医長 森 正和



#### 【会場案内図】



●日時 平成24年1月25日(水) 17:30~19:00(受付17:00~)

●会場 滋賀県立成人病センター 研究所講堂

【住所】守山市守山5-4-30

【交通】JR守山駅からバス約10分

●対象者 医療関係者(一般の方のご参加も歓迎します)

●定員 150名(当日先着順)

●申込不要・参加費無料・駐車場無料(受付で無料化手続きします)